

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和 2 年 3 月 18 日

計画の名称	緊急輸送道路における無電柱化の推進（防災・安全）									
計画の期間	平成28年度～平成30年度			交付対象	石川県					
計画の目標	県民の安全・安心を確保するため、緊急輸送道路の無電柱化を実施し、生命・生活を守る強くしなやかなみちづくりを実現する。									
計画の成果目標（定量的指標）	災害時にも信頼性の高い道路ネットワークの構築を図る。									
定量的指標の定義及び算定式	中心市街地（金沢市無電柱化促進区域内）の緊急輸送道路における無電柱化整備率 （無電柱化整備率）＝（無電柱化を整備した道路の総延長）÷（道路の総延長）						定量的指標の現況値及び目標値			備考
							当初現況値 (H28当初)	中間目標値	最終目標値 (H30末)	
							54%		58%	
全体事業費	合計 (A+B+C)	5,950	A	5,360	B	百万円	C	590	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	9.9%
<b>事後評価</b>										
○事後評価の実施体制、実施時期										
事後評価の実施体制						事後評価の実施時期				
石川県において評価を実施						事業完了後 公表の方法 石川県ホームページで公開				
<b>2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況</b>										
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・（都）寺町今町線（東山）などにおいて、無電柱化により災害時の緊急輸送道路の確保が図られた。								
II 定量的指標の達成状況		指標 無電柱化整備率	最終目標値	58%（13.5km）	目標値と実績値 に差が出た要因	集中的な投資や部分供用により、完成の前倒しを行った路線があるため。				
			最終実績値	59%（13.6km）						
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）		・（都）寺町今町線（東山）において、安全で快適な歩行空間が確保されたことに加え、良好な街並み景観が形成された結果、歩行者数が増加した。								
<b>3. 特記事項（今後の方針等）</b>										
・ 今後も引き続き、新規整備計画において寺町や金石街道など金沢市中心部の無電柱化整備に取り組む。										